

産業廃棄物処理業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時 間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
4	8 ～ 9	ゴミのコンテナを両手に3個ずつ（10ヶ位）持ってトラックへ運ぶ途中、道路の段差につまずき、右足首を酷く捻った。	22	500 ～ 999
4	13 ～ 14	当社工場のゴム破碎処理施設で、ステージの上部から手前にゴムを引き寄せる為にステージに上がり、コンベア側に寄せた後に足を踏みかえステージから降りる際、コンベア付近に足を掛けた時に足が滑り転倒し、脇腹を強打し骨折した。	39	50 ～ 99
6	10 ～ 11	家庭用一般ごみの回収のため、パッカー車で市内巡回中、ごみをパッカー車へと投棄作業をしている際、体勢を崩して倒れそうになったので、咄嗟に右手を側溝の蓋（鉄製）の尖った一辺が浮き上がっていたところに着いてしまい負傷した。	15	30 ～ 49
9	9 ～ 10	ごみ集積所で、可燃ごみの積込を行うため、集積小屋の木製の敷居に左足をかけ中に入ろうとしたとき、その左足が滑って転倒しそうになり、転倒を避けるため左足で自分の全体重を支えたところ、左足付け根に激痛があったが、作業を再開した。	49	10 ～ 29
10	13 ～ 14	給油所にて分離槽清掃中、グレーチング10m分の長さの溝を清掃するため、グレーチングを右手で持ち上げて左へスライドさせた時、指がグレーチングの溝に入ったまま右手薬指を挟んで、右手薬指先端を骨折した。	52	10 ～ 29
10	11 ～ 12	縦型発酵槽脱臭ライン排管確認後、脱臭槽（約1.8m）から降りる際、足が滑り転落。右腕を骨折した。	39	50 ～ 99
	11	焼却施設のメンテナンス（排気風洞内部の清掃作業）作業を行おうとして風洞入口から後ろ向き状態で足から進入したが、風洞内部の入口左手にある足場が分からず、		10

11	～	そのまま落下し背中を打ち背骨を骨折した。このメンテナンス作業は、新規入場者を	44	～
12		伴う場合は、2人組で行うものだったが、風洞内部の構造や作業手順について安全衛生教育が完了する前に、労働者の勘違いから作業を単独で開始していた。		29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html